



ご入学 進級おめでとうございます

待ち望んだコロナ禍の収束をあと少しで迎えられることに感謝し、令和5年度が始まりました。私は、第22代長谷川 貴久校長の後任として山陽中学校に着任しました三浦 洋(ひろし)です。この伝統ある山陽中学校長の重責を重く感じていますが、その職責を果たすべく精進する所存です。

私が、中学生への指導のなかでモットーとしてきましたのは、2つのジリツ(自立、自律)心の育成です。

自立心とは、自分のことは他者の力を借りずに独力でやるという独立心をさすだけの言葉ではありません。私たちは誰かに依存せず生きていけません。誰かに相談し、他者の力を借りながら、自己の役割や責任を果たしていく、という必要な依存を受け入れる意味も含めた自立心を育てることが大切です。自分がどれほど他者に依存しているかを自覚し、感謝しながら、お互いに依存しあって生きていくことのよさに気づく必要があります。

もうひとつの自律心は、正しく自己の言動をコントロールすることができる力のことです。「今やらなければいけないこと」「今やってはいけないこと」「今やる必要のないこと」の3つの点を意識して行動するように言い続けてきました。この「3つ今」は、自分の言動について、「自分自身の心に問いかけながら線を引ける(この辺まではよい。ここからはアウトという線を自分で引くことができる)」ように、自分の脳に意識させるためのキーワードです。しかし、時には判断を誤って、失敗することがあります。失敗したときには、やり直せばよいのです。決して失敗を隠したり、ごまかしたり、他者のせいにしてはなりません。自分に指を向けて(当事者意識をもって)失敗の原因や改善策を考えること、自身の価値観や判断基準を見直す絶好の機会であると気持ちを切り替えてやり直すことが肝要です。それが、失敗から立ち直る力(レジリエンス)を高めることにもつながります。

私は、長谷川前校長と教職員で築いてきた山陽中のこれまでの取組を継承し、さらに進化発展させることが、山中生(さんちゅうせい)の「学力と成長の保障」につながると考えています。そして、それが自分たちに与えていただいた使命である、と。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、新2・3年の皆さん、進級おめでとうございます。

この2つのジリツ心を育みながら、新たに結成した教職員団と生徒の皆さんで「チーム山陽」を築いていきます。1年間、頑張りましょう。

最後になりましたが、保護者の皆さん、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、本校教育実践等に質問・疑問や不明な点がございましたら、お問い合わせ(TEL 297-1610)ください。その際は、学校運営向上の課題解消に役立てるために、お名前を聞かせていただきますので、ご了承ください。また、生徒が健やかに成長するうえで、お子さんの前で学校や教師への批判、非難はやめていただき、事実を確認するためにも、遠慮せず学校に直接お尋ねいただければ幸いです。

【本年度の重点目標】

～ 学校は大きな転換期 急激な変化に「生徒も先生も変わらなきゃ」「学びは止めない」～

～ 姫路一の大規模校でも「大味で大雑把な」指導はしない～

- 1 基礎学力の定着とICT、FT(ファシリテーション)活用による「主体的・対話的で深い学び」を
実践する個別最適で協働的な学習指導の推進
- 2 教育の「手段」と「目的」を明確化したスキルアップとデジタル化
- 3 SDGsを意識した「多様性と調和」の推進
- 4 「一人一人を大切に」分け隔てのない教育推進(男女、校則、不登校)
- 5 個別の指導・支援といじめの積極的認知と児童虐待への早期対応
- 6 自主・自律と自己有用感の高揚 自ら考え行動する生徒活動の推進 集団リーダーの形成

※学校だよりのタイトルは、「光輝(こうき)」を引き継ぎます。

※教職員の異動に関しては、本日付け配布文書をご覧ください。